

愛知学院大学

Aichi-gakuin University

法学部

同窓会会報

Vol.70 2012.1.1



法学部同窓会創立50周年記念式典

CONTENTS

- 2・・・ 法学部同窓会創立50周年記念式典
- 4・・・ 定期総会・講演会・懇親会
- 6・・・ 奨学生からのメッセージ
- 7・・・ 新司法試験合格者の喜びのメッセージ
名城公園キャンパス設置について
- 8・・・ 東日本大震災のお見舞い
同窓会活動インフォメーション
- 9・・・ 暮らしの法律相談
- 10・・・ OB講座「キャリアデザインと法学」
法律相談会
- 11・・・ OB・OG会合開催報告・人事
- 12・・・ 先生お元気ですか？ 芦川豊彦名誉教授
- 13・・・ 地方同窓会
- 14・・・ クラブ活動成績
- 16・・・ ふるさと紹介
同窓会HP投稿募集のお知らせ



法学部同窓会創立50周年記念式典

平成23年11月19日(土)名古屋市中区錦の名古屋観光ホテルにおいて、法学部同窓会創立50周年を祝して、記念講演と記念式典が開催されました。

当日は、朝から雨模様でしたが、大学より小出学院長、大野学長、服部法学部長をはじめ、多くの先生方と、同窓生とご家族208名にご出席いただきました。

はじめに、3階那古西の間にて、記念講演が行われました。

講師は、日本大学大学院総合科学研究科教授の林成之先生による、演題「才能を発揮する脳とところの科学」の講演でした。(講演要旨は右ページにあります)

続いて、会場を、那古東・中の中に移し記念式典が行われました。

式典は、加藤勇会長の挨拶、来賓紹介のあと、小出忠孝学院長、大野榮人学長、服部朗法学部長よりご祝



辞をいただきました。小出学院長からは、お祝いのことばと共に、昭和32年に法学部が設立されるまでの経緯や苦労話が披露されました。

その後、これまでに会長経験のある、安藤丁士、加藤次男、吉田壽夫、大矢孝彦、増子隆の5氏に、長年法学部同窓会の活動に尽力してきたとして、大野学長より感謝状と記念品が贈られました。

善家幸敏名誉教授による乾杯にて宴が始まり、名門名古屋観光ホテルの森料理長が腕を振ったフランス料理を堪能し、お一人おひとり

りが楽しいひと時を過ごしました。全部で21あるテーブルでは、先生、友人との久しぶりの再会で、思い出や昔話に花が咲き、同窓会の懇親会ならではの光景があちらこちらで見受けられました。



後半には、アトラクションとしてアルゼンチン出身のセルヒオ・ビジャロエル氏率いる、ブラックタンゴプロ(BlackTangoPRO)による、演奏と舞踊・歌が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

その後、全員で校歌を斉唱し、万歳三唱にて散会となりました。

なお、今回出席いただいた皆様には、法学部同窓会刊行の「法学論集(第四巻)」・「講演録集」と、記念のオリジナル洋菓子が配られました

出席いただいた皆様が会場を後にされる際、とてもにこやかな表情をされておられるのを拝見して、3年前から企画・準備にあたってきた、同窓会役員の方々の不安や疲れが、一気に吹き飛んでしまいました。記念式典にご出席いただき、本当に感謝申し上げます。

母校愛知学院大学は、平成26年4月に名城公園東に名城公園キャンパスが設置されることになり、新たな段階に入ります。いままで同様に、愛知学院大学ならびに法学部同窓会に対し温かいご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。



林 成之先生の「才能を発揮する脳とこころの科学」講演要旨



脳の仕組みや思考回路について、「自己保存」「統一・一貫性」という本能について、本能の鍛え方について、各種スポーツ選手が実践している習慣など、ユーモアを交えながら大変わかりやすくお話いただきました。「物事に常に興味を持つ」、集団で行動する場合は「相手を好きになる」「共通の目標を持つ」「相手の脳に入る」「相手を尊敬する」といった普段からの心がけが、いざ勝負という場面でのまとまりや本領を発揮する土台になっていること、またそれらを鍛えるための具体的な方法や物事の考え方など、スポーツの世界だけではなく仕事や子育てなど日常生活でも実践・応用できる大変興味深い内容でした。奇しくも当日はプロ野球日本シリーズの真ただ中でしたが、日本一となった福岡ソフトバンクホークスが春のキャンプ時から掲げていた「日本一をとるんだ!」という一人ひとりの強い気持ちが生み出した最高の結果は、当講演の内容に相通ずるものだったのかもしれない。

「才能を発揮する脳」の形成は、幼少期からの積み重ねが大切とのことでしたが、年齢を重ねた“大人”の私たちでも本能に働きかける物の考え方や行動でその形成は可能とのこと。林氏の著書も多く刊行されていますので、読まれてみてはいかがでしょうか。

人生を楽しむ「ヒント」がたくさん詰まっているご講演で、1時間という時間があっという間に過ぎて行きました。



林 成之(はやし なりゆき)氏のプロフィール

1939年、富山県生まれ 日本大学医学部、同大学院医学研究科博士課程修了。
救急医療の研究に取り組み、日本大学医学部教授などを経て、
日本大学大学院総合科学研究科 教授。
2008年、北京五輪で北島康介選手の金メダルなど、日本競泳チームの好成績に貢献した。

著書：脳に悪い7つの習慣(幻冬舎新書)
脳力開発マップのススメ(NHK出版生活新書)
<勝負脳>の鍛え方(講談社現代新書)など多数

創立50周年記念「法学論集」・「講演録集」について

法学部同窓会創立50周年を記念して、学術論文集「法学論集第4巻」と、同窓会が主催した講演記録の集冊版「講演録集」を刊行しました。いずれも11月19日の記念式典出席者には記念品としてお渡したものです。まだ若干の部数があります。法学部卒業生(法学部同窓会員)でご希望の方に送料(切手)のみでお送りいたします。

希望品

「法学論集」+「講演録集」……………切手500円
「法学論集」……………切手350円
「講演録集」……………切手350円

送料



「法学論集 第四巻」 執筆者(敬称略)

芹田健太郎 榊原志俊 大野正博 米倉 明
右近健男 田中淳子 伊藤栄寿 高木健太郎
伊藤雄太 服部育生 後藤幸康 伊藤弘子 桑原昌宏

「講演録集」 講演録登載の先生(敬称略) ()は講演年

横山晃一郎(昭和56年) 湯浅道男(昭和60年) 伊藤英樹(昭和62年)
中野昌治(平成元年) 黒神 聡(平成5年) 福島瑞穂(平成8年)
黒田喜重(平成11年) 若原 茂(平成13年6月) 草野 厚(平成13年11月)
梅川正美(平成17年) 山野嘉朗(平成19年) 高木敬一(平成21年)

「法学論集」および「講演録集」をご希望の方は、卒業年度・氏名・送付先郵便番号・住所・TELを明記の上、送料(切手)を添えて同窓会事務局へお申し込みください。お届けできるのはお申し込みから2週間くらいです。

定期総会・講演会・懇親会

平成23年度定期総会・講演会・懇親会が、さわやかな初夏のにおいがする平成23年6月23日(日)に母校愛知学院大学日進学舎学院会館において盛大に開催されました。定期総会には大勢の会員に出席をいただき、提議したすべての議案の承認をいただきました。

定期総会后、服部 朗法学部長に「少年法」的視点～非行の背景を考える～と題して、講演をお願いし、参加者は久しぶりに授業を受け、学生気分にもどりました。

講演会終了後、場所を移して懇親会が開催されました。小出学院長・大野学長・各先生・各地方同窓会の皆様をはじめ、会員とご家族合わせて過去最大の325名のご出席をいただきました。会員の中には親子3代での参加の方もおられました。懇親会恒例の大抽選会も例年通りに行われ、当選番号

発表の都度一喜一憂の声が上がリ盛り上がりしました。



▲懇親会風景▼



▲講演会風景

懇親会の大抽選会

懇親会「大抽選会」の景品のテーマは“歩(あゆみ)”

- 1等 3Dテレビ
- 2等 iPad
- 3等 ポータブルDVDプレーヤー
ホームベーカリー
- 4等 野球観戦チケット(ペア)
- 5等 お米(5kg)
- 6等 デパート商品券
- 特別賞 ゴパン

上記の商品が用意されました。

1等は鈴木孝明さん(S46卒)が見事GETされました。

1等 当選(3Dテレビ)

鈴木孝明さん(昭和46年卒)

一等賞の3Dテレビを頂き大変喜んでおります。同窓会には毎年欠かさず出席させて頂いております。そして今年も6歳と4歳の孫と参加をいたしました。昨年は孫二人が抽選会のお手伝いをさせて頂き良い思い出になりました。このところなぜか抽選運がよく、野球のチケット、お米、松茸そして今回の3Dテレビと大当たりです。ありがとうございました。来年も孫と参加したいと思っています。



特別賞 当選(ゴパン) 加藤良蔵さん(昭和49年卒)

思いもよらない当選に本当に喜んでます。このゴパンは娘の花嫁道具になると家族一同忘れることのできない当選になりました。法学部のみなさん、ありがとう。

やった! 当たった!
当選おめでとうございます!

2等 当選(iPad)

長谷川加奈子さん(平成19年卒)

まさか当選するなんて思っていませんでした。人生初の重大物ゲットです。ありがとうございます。ちなみに私よりダンナの方が使いこなしています。ちょっと悔しいです。(笑)

4等 当選(野球観戦チケット)

大橋健一さん(昭和58年卒)

28年ぶりに母校に行き、偶然にも友人と出会い、野球チケットが当選しました。今年一番の幸運の日と思いました。

総会報告

平成23年度定期総会は、武林 悦子さん(平成2年卒)が議長を務め、下記の第1号議題から第5号議題までを提議し、すべての議案が承認されました。

議 題

1. 平成22年度事業報告
2. 平成22年度会計報告
3. 監査報告
4. 平成23年度事業計画案
5. 平成23年度予算案



収 支 計 算 書

平成23年度事業計画

平成23年度予算

愛知学院大学法学部同窓会

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	平成22年度予算	平成22年度決算	増 減
I 収入の部			
前年度繰越金	214,917,288	214,917,288	
同窓会入会金・会費	16,640,000	16,540,000	- 100,000
大学取利息	625,000	600,500	- 24,500
受取利息	500,000	423,557	- 76,443
雑収入	150,000	441,000	291,000
合 計	232,632,288	232,922,355	90,067
II 支出の部			
連絡協議会費	300,000	300,000	0
総会費	5,800,000	5,350,086	- 409,914
会議費	700,000	691,283	- 8,707
奨学金	1,440,000	1,440,000	0
助成金	2,000,000	1,848,876	- 151,124
印刷費	2,000,000	1,978,095	- 21,905
通信費	1,400,000	1,299,478	- 100,522
人件費	3,700,000	3,579,991	- 120,009
旅費交通費	1,700,000	1,645,129	- 54,871
消耗品費	300,000	116,212	- 183,788
備品費	900,000	418,955	- 481,045
備品費	300,000	0	- 300,000
在学生育英費	600,000	366,590	- 233,410
名簿管理費	800,000	772,732	- 27,268
創立50周年記念事業費	2,500,000	2,416,184	- 83,816
雑費	60,000	27,879	- 32,121
予備費	500,000	0	- 500,000
合 計	25,000,000	22,191,500	- 2,808,500
次年度繰越金	207,832,288	210,730,855	2,898,557

今年3月11日三陸沖を震源地とした大震災で多くの方が被災され、追いうちをかけるように福島原発事故が発生し、そのため多くの方が避難生活を余儀なくされている状況となっております。そのうえ、国内では依然として情報化、国際化が一層進展し、格差の拡大、本格的な少子高齢社会が到来し、人々の意識や生活の多様化、個性化が進むなど、政治・経済・社会のあらゆる面で、多難な時を迎えております。

国際社会においては、求められる世界各地で起きている地域紛争の平和的な解決、核や環境・食糧・人口・難民問題など全人類の多くの課題を抱えております。私たちは遠い世界の問題としてではなく、これらを自らの問題として考えなければなりません。

このような情勢のなか、母校とともに歩む法学部同窓会は、人々の福祉と文化の進展に貢献するための積極的な活動がますます重要となってまいりました。また、今年は法学部第1回卒業生が世に出てから50年を迎える記念すべき年となります。その節目にあたり、實業ではありますが、記憶に残る50周年となるような記念事業を企画いたします。

1. 母校および他同窓会との連携を図る事業
 - ・連絡協議会活動
 - ・他同窓会活動への参加
2. 同窓生相互の親睦を図る事業
 - ・法学部同窓会創立50周年記念事業の実施
 - ・定期総会の開催
 - ・年1回の会報の発行
 - ・同窓会ホームページの充実
 - ・地方同窓会および支部活動への支援
 - ・同窓生相互の親睦への支援 (OB・OG会合助成)
 - ・在学生への奨励・支援 (奨学金給付、OB講座等)
3. その他
 - ・同窓生への災害時のお見舞い
 - ・地域での法律相談の開催

愛知学院大学法学部同窓会

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	210,730,855	連絡協議会費	300,000
学部入会金・会費	14,220,000	総会費	3,800,000
		会議費	800,000
		奨学金	1,440,000
		助成金	2,100,000
		印刷費	2,100,000
		通信費	1,400,000
		人件費	3,700,000
		旅費交通費	1,700,000
		消耗品費	300,000
		備品費	100,000
		備品費	200,000
		在学生育英費	600,000
		名簿管理費	900,000
		創立50周年記念事業費	17,500,000
		雑費	60,000
		予備費	500,000
		小 計	37,500,000
		次年度繰越金	188,363,355
合 計	225,863,355	合 計	225,863,355

(注) 学部入会金・会費は1本で計上する。(大学からの要請により)

総会にて各議題とも承認されました。

今年はおあなたが1等当選者になるかも!

今年も下記の景品テーマで準備します。出席をお待ちしています。

平成24年度の総会・懇親会は

**平成24年6月30日(土)に
名古屋東急ホテルで開催します。**

恩師との再会を楽しみに…
同級生との再会を楽しみに…
いやいや大抽選会を楽しみに???
是非、ご家族でご参加下さい!!

※総会案内は6月初旬にお送りします。

「大抽選会」の景品のテーマは“ECO(エコ)”

- 1等 **ダイソン 掃除機** …………… 1本
- 2等 **ダイソン テーブルファン** …… 1本
- 電動自転車** …………… 1本
- 3等 **精米機** …………… 2本
- イオンスチーマー** …………… 2本
- 4等 **野球観戦チケット(ペア)** …… 8本
- 5等 **全国宝くじ(10枚)** …………… 20本
- 6等 **デパート商品券**

※景品は変更になる場合があります。

本年度法学部奨学生からのメッセージ

平成23年6月23日の同窓会総会に続く懇親会の席上で、平成23年度法学部同窓会の奨学金給付を行いました。奨学生は、在学生と大学院生から公募され、選考された奨学生に対して、同窓会から奨学金(年額24万円)が給付されるものです。



法務研究科3年 田中 順

この度は法学部同窓会奨学生に選定していただき、誠にありがとうございます。
このようなご支援を頂いたことの感謝を忘れず、来年の司法試験合格に向けて一層勉学に励みたいと考えております。
そして晴れて法曹となれた時には、少しでも大学に恩返しができたらと考えております。
本当にありがとうございました。



法務研究科2年 運天寛樹

この度は、平成23年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。
法律を学ぶことの難しさに、悪戦苦闘しながらも、先生方や法務研究科のスタッフ、そして共に学んでいく仲間達の支えもあって、充実した一年間を過ごすことができたと思います。
これからも、奨学生という自覚を胸に、弁護士になるという夢をかなえる為にも、がんばっていきたいと思います。



現代社会法学科4年 藤田泰裕

この度は、平成23年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの優秀な候補者の中から私を選んで頂いたことに感謝以外の言葉はありません。心から嬉しく思います。
同窓会の皆様、大学教授や講師の皆様、そして学舎で勉学に励んだ有志達。様々な出会いが今日の私の礎となっています。今後も日々感謝し、奨学生としての誇りも胸に、精一杯頑張ります。ありがとうございました。



現代社会法学科3年 南部知似

この度は、平成23年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。多くの候補者の中から私を選んでいただいたことに感謝します。
私がここまで来れたのは、私を支えてくれていた両親や私を鍛えてくださった法学部の先生方等のたくさんの人たちのおかげです。
これからもより一層、勉学に励んでいきます。ありがとうございました。



法律学科3年 今村直登

この度は、法学部同窓会の奨学生に選んで頂き誠にありがとうございます。多くの候補者の中から選んで頂いたことに感謝しております。
同窓会の皆様をはじめ、中身の濃い講義をして下さる先生方、的確な助言をして下さる先輩方、切磋琢磨できる友人達そして家族にも感謝しております。
これからの学生生活は奨学生の名に恥じぬようにそして、誇りを持って勉学に励んでいきたいと思っております。



法律学科3年 石崎香穂

この度は、平成23年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの奨学生応募者の中から選んで頂いたことに大変感謝しております。
現在、私は自分のあらゆる可能性を求めて、法律の専門分野の勉強や資格取得に向けて挑戦しています。
これからも努力を続け、奨学生という自覚と責任を持って学業に専念していきたく思います。

新司法試験(新65期)に合格

～合格者の喜びのメッセージ～

平成23年9月8日、法務省より本年の新司法試験の合格者が発表され、本学法科大学院(ロースクール)修了者のなかから1名が合格しました。



長谷川知正

私は、愛知学院大学法学部現代社会法学科に入学し、卒業後すぐ愛知学院大学法科大学院に入学し、この度、3回目の受験で新司法試験に合格することができました。

学部在学中は教養としての法学を主に学んでおり、法律関係資格の勉強もしたことがなかったため、法科大学院入学当初は授業についていくことも精一杯でした。しかし、少人数教育を重視する本法科大学院において、教授やチューターの先生方等のきめ細やかな指導を受けることができ、また、共に法曹を目指す良き仲間にも恵まれたこともあって、卒業

するころには十分合格できる実力を身につけることができました。

ところが、卒業式の翌日に病院に搬送され入院した後は闘病生活を余儀なくされ、健康面で大きな不安をかかえ精神的にも追い詰められた結果、2回連続で新司法試験不合格となってしまいました。

そんな中でも諦めず勉強を続けられたのは、良き仲間にも恵まれたことだけではなく、卒業後も教授やチューターの先生方、法科大学院のスタッフをはじめとして、勉強や学習環境はもちろん、健康面や精神面も配慮していただいたことが非常に大きく、本法科大学院でなければ合格はありえなかったといえ、大変感謝しています。

今後は、本法科大学院に対して後輩への指導等を通じてこれまでお世話になった恩返しをすることや、本法科大学院で培ったことを活かして良き法曹になれるよう頑張りたいと思います。

名城公園キャンパスのイメージパース



名城公園キャンパス設置について

平成23年10月1日、愛知学院大学は平成26年4月に「名城公園キャンパス」を開設することを、新聞などのマスコミに発表しました。35年前、学院百周年事業として日進学舎ができた法学部をはじめ、多くの学部と学生が楠元学舎から移転したのに匹敵するような事業に思えます。その目的や法学部との関わりなどをお尋ねするため、この事業について、愛知学院早川太弍学監に、三浦利和広報部長がインタビューに伺いました。

—新キャンパスの目的は何でしょうか—

愛知学院は本年創立135周年を迎えます。大学のさらなる飛躍を目指して、新キャンパス設置事業を開始することになりました。新キャンパスは名古屋城の豊かな緑に包まれた森の東側にあり、勉学に最適な落ち着いた環境であり、しかも名古屋経済圏の中心に位置しています。ここに伝統と実績のある商学部と経営学部を進出させ、新たに経済学部を新設する予定です。これらビジネス系3学部の2年生以上の専門教育を平成26年より新キャンパスで行う予定であり、躍動する社会とのより密接な連携のもと、教育の更なる充実・強化をはかることにします。

—法学部は新キャンパスではどのように関わることになるのでしょうか—

新キャンパスでは、ビジネス系3学部を中心として、総合大学の利点をいかして、法学部をはじめ他学部の協力のもと、大都市名古屋の知的拠点を構築します。また、官公庁をはじめ、内外の研究者や経済界および各界の専門家との交流拠点を形成する予定です。

—新キャンパスでの目指す方向はなんですか—

新キャンパスは、中部地方の経済および文化の中心に位置し、市民の皆さんの生涯学習の拠点にふさわしい場所です。大学施設の整備に併せ、市民講座や、近隣商店街との連携をはじめとして名古屋の経済および文化発展の核となることを目指します。

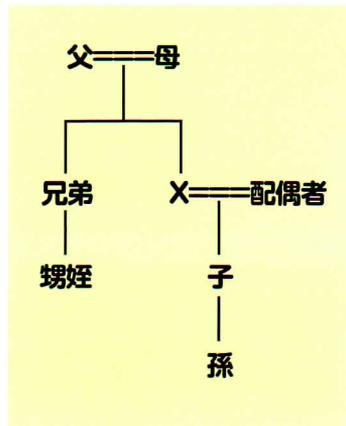
—新キャンパスで予想される困難なことは何でしょうか—

愛知学院大が、楠元キャンパス、日進キャンパス、名城キャンパスとなり、学生の課外クラブ・サークルの活動、キャンパス間の移動など課題があります。大学、先生、学生、OB各位の協力をいただきながら、学院の発展と社会貢献のため邁進して行く所存であります。ご協力をお願いします。



はじめまして、弁護士の加藤幸英(平成7年卒)と申します。
 愛知学院大学を卒業してから紆余曲折を経て、2年前に弁護士登録しました。
 私以外にも同期に3名の愛学ロースクール出身の弁護士がおります。
 法律相談でよく聞かれることを中心に、同窓生の皆さんの関心が高そうな法律問題を、
 交代でご紹介していきたいと思っております。
 第一回の今回は、「相続」についてお話しします。

人が亡くなると、相続が始まります。
 亡くなった方を「被相続人」と言い(図の「X」)、被相続人の財産を受け継ぐ人を「相続人」と呼びます。
 配偶者がいれば、その方は必ず相続人になります。
 次に、Xに子供がいれば、子供も相続人になります。
 子供が先に亡くなっても、孫やひ孫がいれば、その孫たちが相続することになります。
 被相続人の配偶者と子供が相続人になるのが、相続の典型的なパターンだと思えます。



被相続人(X)に配偶者がいても、子や孫がいなければ、被相続人の親も相続人になります。
 そして、子供や親のどちらもない場合には、兄弟も相続人になります。
 兄弟が亡くなっていた場合でも、その兄弟に子供がいれば、相続人になります。つまり、亡くなった方の甥や姪まで、相続人になる可能性があるということです。

ただ、ここで注意していただきたいのは、兄弟姉妹やその子供には、遺留分がないことです。
 ですから、「第三者にすべてを相続させる。」という遺言があった場合、兄弟やその子供は全く財産を受け継ぐことができません。

亡くなった方(被相続人)の財産をもらえるのが、一般的な相続のイメージです。
 ところが、被相続人が、多額の借金を負っていた場合、相続人は、借金も受け継ぐことになっています。
 相続財産には、借金などのマイナス財産も含まれているからです。

以上が相続の基本的なルールです。

※ご質問や、取り上げて欲しい問題がありましたら、同窓会事務局まで(houdoso@dpc.agu.ac.jp)メールしてください。
 また、法律に関するお困りごと・相談は、**城綜合法律事務所**(052-223-1701)までご連絡ください。
 心をこめて応じさせていただきます。

本学卒業のOB弁護士 (敬称略)

氏名	所属先	住所	電話番号
鈴木 健治	鈴木健治法律事務所	名古屋市西区城西 1-8-16 杉浦ビル 2階	052-532-8320
村田 武茂	村田法律事務所	名古屋市中村区名駅 4-17-3 メイヨンビル 8階	052-561-1785
野々垣 吉曜	佐賀千恵美法律事務所	京都府京都市上京区丸太町通堀川西入北側西丸太町 171 中西ビル 3階	075-841-6730
加藤 幸英	城綜合法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-18-25 丸の内 KSビル 14階	052-223-1701
鈴木 亮	あすなる法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-1-37 エスパシオ丸の内 3階	052-201-7391
早川 雄一郎	弁護士法人愛知しらかば法律事務所	岡崎市六名本町 6-5 村越ビル	0564-53-5675
堀田 泰成	浅賀法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-8-11 セブン丸の内ビル 4階	052-232-7860

法学部卒業生のOBが講師となって、自分の職業と法学の関係を語る講座「キャリアデザインと法学」が今年度も前期に開講され、学生から高い評価を受けました。この講座は法学部同窓会が大学に協賛して実施するもので、今回で8回目となります。

平成23年度において講義していただいたOB(敬称略)

講義日	テーマ	講師	ジャンル	
4/13	自動車販売業とは	三浦 利和	販売	北部ダイハツ株式会社
4/20	税理士の仕事について	浅野 信司	税理士	浅野税理士法人
4/27	銀行業務の変遷	浅井 健司	金融業	三菱東京UFJ銀行 金山支店 業務管理課長
5/11	弁護士という仕事	加藤 幸英	弁護士	城綜合法律事務所
5/18	住宅営業と総務の仕事(面接のポイント)	福田 一夫	住宅デベロッパー	積水ハウス(株) 中部第一営業本部 総務部長
5/25	夢のあるおもしろい企業の創り方と仕事の楽しみ方	大参 哲也	総合商社	タキヒヨー(株) 執行役員 システム部長
6/1	警察官の正義(仕事のやりがい)	山内 和久	公務員	愛知県警察本部 刑事部 捜査第三課長
6/8	土地家屋調査士の仕事について	小島 篤実	土地家屋調査士	小島測量登記事務所
6/15	飲食業について	天野 茂裕	飲食業	東京第一ホテル錦 和食処 錦亭店長
6/22	公務員の仕事について	友宗 篤彦	公務員	財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市市民経済局付主幹
6/29	「みんなの知らないテレビ局」放送・倫理・考査	中村 茂樹	マスコミ	東海テレビ放送 総務局 番組審議室 専門局次長
7/6	今、求められる企業スポーツ	河野 克己	食品	サントリー バレーボール部 ゼネラルマネージャー兼総監督
7/13	魅力ある教師の仕事	長谷川加奈子	公務員	名古屋市立植田中学校教諭

キャリアデザインと法学とは???

講座の目的

今日の社会は急速に変容しており、3万種ともいわれる職業の種類においても、仕事内容においても、めまぐるしく激変しているのが実情です。

そこで学生達は、自分がどのような職業に向いているのかを判断する材料を獲得するのが、非常に困難になっています。

結果的には、全国のどこの大学においても、就職はしたがすぐにやめざるをえないとか、就職活動が熱心にできないなどという、傾向が現れています。

愛知学院大学法学部と法学部同窓会は、このような事態に対処するために、先輩たちの社会での職業のありかたと、それを担う姿を、学生諸君が大学の授業の中で見聞することが必要であると判断しました。

先輩たちの社会での活動を先輩の生(なま)の声で触れるなかで、学生達には、自己の将来を深く考えてもらいたいというものです。



授業の内容 スケジュール

OBによる講義は、合計13回行われます。講師は、同窓会の先輩が担当し、毎週違った講師が登場し、自分の職業と法学の関係を語ります。職業は、弁護士、税理士、公務員、金融業、製造業、建設業、サービス業、販売業など、多岐にわたり幅広い分野で展開されます。

法律 無料 相談会

法学部同窓会主催 無料法律相談会を開催しました。

- 日 時：平成23年12月3日(土)
- 場 所：愛知県愛知郡東郷町
東郷町民会館 2階会議室
- 相談件数：17件
- 相談内訳：隣地境界 4件、借地借家 1件、離婚 1件、
遺産相続 3件、金銭貸借 3件、人権 2件、その他3件



OB・OG会合 開催報告

「OB・OG会合」とは法学部同窓会会員が5人以上籍をおく、会またはグループで、法学部同窓会長が「OB・OG会」として認めたもので、法学部卒業生がゼミナール・卒業学年・クラブ・サークル・職場・在住地域で交流する会またはグループが会合をもったとき、出席者1名につき、2千円を助成します。(限度額があります。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。)



黒田先生を囲む会 / 平成22年11月7日(日)

平成22年11月7日に昭和47年卒業の黒田ゼミの仲間が、名古屋市中区の喜多八で「黒田先生を囲む会」を開催しました。神奈川県、兵庫県の遠方からの出席者もあり、先生を含め11名の38年ぶりの再開に、懐かしさ・感激で涙をこらえての楽しいひと時を過ごしました。仕事の都合とか、体調を崩して出席できなかった方もありましたが、次回には、もっと多くの仲間が健康で再会できることを誓い閉会しました。
山田 猛(S47年卒)



伊藤ゼミOB会新年会 / 平成23年1月8日(土)

今年も恒例の伊藤ゼミOB会を1月8日(土)名古屋市中区丸の内三丁目の「かめい」にて開催致しました。残念な事に、一番体格が良かった57年卒の河原幸弘君が昨年1月に悪性リンパ腫によって急逝。有志でご自宅にお参りに行った後に催す事になりました。参加者は17名、一人途中で体調不良の為、早退。そのおかげでもっぱら健康管理の話で持ち上がりました。伊藤教授は、髪の毛が白くなったもの益々お元気で、「私を見習って物事にこだわらず伸び伸びと頑張ってください。」とお言葉を頂き、来年の30周年の話題へと進展しました。議論をしたところ、伊藤教授のご希望の地の中から、「北海道の余市」に多数決をもって決定。幹事はノ瀬君と前澤君のコンビ。多分、前回の鹿児島のように、大爆笑の珍道中になる事が期待されます。それまでくれぐれも体調を万全にして全員参加を祈って、二次会へと進みました。
鈴木 厚司(S56年卒)



そうそうかい 叟々会幹事会 / 平成23年3月15日(火)

去る3月15日、いつもの集合場所(JRコンコース・2Fフロアー)に、幹事役の面々が集合する。久しぶりの出会いで、早速、昼食会場へと移動。昼時ながら、会計役の中井氏がリザーブしておいてくれた。喫茶「純」へ、ママの笑顔に迎えられ、それ又自慢のカレーライスをいただきながら、お互いの近況報告に始まるも、やはり話題は、大震災・津波によるその被害の恐ろしさ、今後の復興への見通し、経済活動その影響、国内は無論、海外からの救援活動等々、話しはつきなかったが、本日の目的である、叟々会の次回、開催日時、行事内容については、結論を得る事が出来ず、各々が課題として持ち帰り、幸いにも6月26日に催される、日進キャンパスでの総会、懇談会の終了後に改めて、結論を出すことで散会とした。
岡本 弘道(S36年卒)

人事 (法学部関係)

■新任 (平成23年4月1日付)

法務研究科 法曹倫理 浅賀 哲 特任教授
法務研究科 民事訴訟法 上北武男 教授

■退職 (平成23年3月31日付)

法務研究科 法曹倫理 笹本忠男 特任教授
法務研究科 民事訴訟法 石川 朗 教授
法務研究科 債券総論 米倉 明 教授

■昇進 (平成23年4月1日付)

法学部 刑事訴訟法 石田倫識 准教授
法学部 商法 武田典浩 准教授

法学部同窓会 事務局からのお知らせ

皆様のお名前・住所・勤務先・電話番号等
変更の場合は、ハガキ・FAXで
法学部同窓会事務局へご連絡ください。

あなたの力を貸してください。同窓会活動に参加してみませんか!!
同窓会活動はボランティアで成り立っています。いま、同窓会役員を募集しています。
詳しい応募の方法は同窓会事務局にお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

○同窓会事務局への電話等の問い合わせについて………

同窓生の住所・電話番号・ゼミ名等の個人情報は、理由の有無等は関係なくお答えしません。

○同窓会・クラス会・OB会など開催するために、 該当者の住所など、個人情報が必要な場合は、 同窓会事務局へお問い合わせください。

個人情報保護法の趣旨に則り、同窓生の個人情報については慎重かつ適切に
処理してまいりますので、皆様のご理解の程をお願い致します。

事務局業務時間について

月～木 / 9:00-16:00 金曜日 / 9:00-13:00 土日祝日はお休みです

法学部同窓会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
電話 0561-73-1111(内線 2303) FAX 0561-74-1410
メール houdoso@dpc.agu.ac.jp

秋晴れの日、日進キャンパスで芦川豊彦名誉教授にお会いした。「インタビューは苦手」と言われる先生だが、法学部開設当時の懐かしい思い出やご自身の近況を語ってくださった。これまでも先生には法学部の歴史に関する寄稿文を本誌に提供いただいたが、先生の口から語られるエピソードはどれも興味深く、改めて法学部の礎を築かれた方々への尊敬の念を強くした。

法学部の歴史とともに歩んだ日々

芦川先生は昭和32年の法学部開設時から法学部を育ててこられた、まさに「法学部と共にある存在」である。

東京で生まれ育ち、早稲田大学法学部と大学院で学ばれた先生は、東京近辺以外に住んだことがないため、当時の名古屋は「未知の地」であった。市電で乗り合わせた女子高生が話す言葉はよく聞きとれず、「ご無礼します」と名古屋弁で挨拶されると「武士の話しことばを聞くような気分になる」と懐かしそうに話される。

当時、東京一名古屋間は国鉄の準急「東海」で片道6時間。午前から仕事があるときは夜行の急行を利用するしかなかったが、ほとんど眠れなかったとのこと。まだ地下鉄もなく、大学のある楠元までは路面電車や市バスを利用していた。栄、池下、東山と延びていく地下鉄東山線と重なり合うように、法学部は発展してきたという思いを持たれている。

文部省へ提出する書類を抱えて、東京と名古屋を往復された事も大仕事であったが、何といても大変だったのが開設当初の『学生募集』であった。中部地域の高校を訪ねても、そもそも『愛知学院大学法学部』の存在すら知られておらず、なかなか色よい返事がもらえなかった。その後、法学部の先生達の地道な活動が実を結びとともに、学生が育っていくにつれて知名度は上がっていった。「10年ほど経って『受験新報』の『主要大学・法学部を訪ねて』という巻頭特集記事に、愛知学院大学法学部が掲載された時は嬉しかったですね」と、昨日のことのようにその喜びを語られる。

第一期卒業生64人からスタートし、現在までの卒業生総数は2万6,000人。中部地区初の私立大学法学部法律学科である『愛知学院大学法学部を大きく育てたい』という先生達の思いは現実のものとなった。

芦川先生にとって何より嬉しかったのは、大先輩である素晴らしい先生方との出会いであり、それは開設時の苦労をも忘れさせる人生の財産となっている。当時、高名な先生方を招いて講義が行われていた。30代の先生にとっては雲の上の存在である大先生が、はじめて来校される講義や集中講義のときには名古屋駅まで迎えに行き、詰襟姿の学生に混ざってご自分も一番前の席で講義を受けられた。法学部を育てながら、多くを吸収され、充実した日々であったことが伺える。



キャンパスをバックにお元気な芦川豊彦名誉教授

一步一步前向きに

先生は数年前に腰を痛められたことがある(腰部脊椎管狭窄)が、入院はせずに数か月の通院で治された。その後もしっかりとリハビリをされている。腰痛が治まってからは日進市の介護予防事業の『足腰お達人クラブ』で、セラバンドを使った筋トレを数カ月間続け、ご自宅の廊下でも歩行訓練を重ねられた。また、ご夫婦仲良く日進のご自宅から近くの公園まで散歩されたり、さくら・つつじの季節には日進キャンパスを散歩されたりと、日々歩くことを楽しまれている。足腰をしっかり鍛えて、再び日本の各地を奥様と旅行されることを目標に、文字通り「一步一步」歩き続けている。

最近では市民教室で陶芸にも挑戦されており、手作りの器や花瓶が増えてきた。「土練り3年ロクロ10年というそうだが、荒練りはできても菊練りは難しい。釉薬も10のうち9はうまくいきませんが、それだけに思い通りに仕上がった時は本当に嬉しいですね」と本格的。こちらは手作業で「一步一步」技を磨かれている。

法学部開設時の多忙な日々を振り返り、「初心忘るべからず。ひたすら『もう一步、また一步』と前向きに歩いてきたつもりです」と静かに話される芦川先生。83歳の今も一步一步丁寧に歩まれているそのお姿に、愛知学院大学法学部の未来を見据えながら、堅実に礎を築いてこられた若き日のお姿が重なって見えた。

プロフィール

昭和3年9月10日生

早稲田大学法学部大学院法学研究科経て

昭和32年 愛知学院大学専任講師(民法・労働法)

昭和41年 愛知学院大学教授(民法・労働法)

昭和44年～47年1月まで 愛知学院大学法学部長

昭和50年～62年11月まで 愛知県地方労働委員会委員

昭和56年～58年3月まで 愛知学院大学法学部長

平成元年～7年3月まで 愛知学院大学付属図書館長

平成5年～9年3月まで 愛知県中小企業労働相談所特別労働相談員

平成12年 定年退職

平成12年～17年3月まで 客員教授

平成17年 名誉教授の称号をうける。

平成20年 瑞宝中級章受賞

論説・研究ノート

素因と不況行為責任(1990)愛知学院大学法学会・法学研究組合の「分裂」と財産の帰属(1980)労働法学会編、現代労働法講座他に論説・研究ノート・教材・資料多数あり

地方同窓会

愛知学院大学同窓会は、地方でも活動しています。そんな地方同窓会総会の模様をレポートしてもらいました。

関西同窓会

■開催日:平成23年9月25日(日)グランド白楽天

会に先立ち鷹羽清武代表幹事より、鷹羽清武代表幹事、丸田満正副代表幹事が退任し、後任に山岡幸治氏(商44年卒)が代表幹事に、山田晃生氏(法61年卒)が副代表に就任した旨報告された。山田晃生副代表幹事の開会宣言により開会、山田幸治代表幹事の挨拶に続き来賓紹介がされ、大学代表のキャリアセンター部長酒井邦雄教授、同窓会代表の歯学部同窓会副会長川西旭彦氏の祝辞があり、鷹羽清武、丸田満正前役職者の退任挨拶がなされた後に、監査役の下市哲也氏より「平成22年度会計報告」があり、商経会会長余語充伸氏の乾杯の音頭で懇親会が進み、途中ビンゴゲームが行われ終始和やかに歓談が進行、最後に校歌斉唱、記念写真撮影をおこない無事終了した。

ただ今回は8月開催予定が9月になり出席者が35名と少なく次回は増やしたいと主催者談あり。

伊藤照夫(S48年卒)

広島同窓会

■開催日:平成23年10月22日(土)ホテルグランヴィア広島

18:00より 船本副代表幹事の司会・開会挨拶により開会。ご来賓として参加された方々は 大学代表の黒神学生部長、文学部・心身科学部 富田事務局長、同吉田財務部長(女子)、商経会 木村総務副部長、歯学部同窓会 津田副会長、同 魚住広島県支部長、山陰同窓会 中垣代表幹事、四国同窓会 中野代表幹事、法学部同窓会の私の9名でした。黒神先生の来賓代表挨拶の後、富田事務局長の乾杯で懇親会が始まりました。40名以上の会員(ご家族含め)のご参加で、会員の皆様方と大変楽しく懇親を深めることが出来たと思います。広島同窓会の方々は広島カープ在籍の木村選手(本校の卒業生)の応援等で普段から頻りに連絡を取り合い、球場に足を運ばれ、一枚岩になって応援されているとお聞きし大変嬉しく思いました。実際に懇親会の席でも木村選手の話で持ち切りでした。お楽しみ抽選会では、会員の山田光春さんからご提供頂いた椎茸とこんにゃくを含め、たくさんのお品で皆さん大変盛り上がりました。その後全員で校歌を斉唱し船本副代表幹事の閉会挨拶、四国同窓会 中野代表幹事の万歳三唱、全員での記念撮影をして20:30に無事閉会を致しました。何より驚いたのが、我が法学部同窓会の鈴木厚司君が早くも広島同窓会に溶け込んでおり、何と受付までやっていた事に対し、彼の生命力の強さに感服致しました。その後私は船本副代表幹事と鈴木厚司君と夜の広島の街にくだした事は皆さん安易に想像できると思います。

青山 稔(S55年卒)

関東同窓会

■開催日:平成23年10月23日(日)三笠會館 本店

今年度の関東同窓会懇親会では新たな試みとして、商学部名誉教授の加藤勇夫先生による講演会が開催されました。演題は「マーケティングの基本」で、およそ1時間の大変有意義な講演をいただきました。引き続きの懇親会は、8人の来賓と26名の会員によって開催され、会員内訳は商経学部卒14名、法学部卒10名、文学部1名、歯学部1名でした。懇親会の冒頭、関東同窓会代表幹事の前澤猛志氏(法学部卒)より挨拶があり、今年度から講演会を開催、また関東同窓会独自のHPを新たに開設した旨の案内がありました。大学側からは、柴田光徳事務局長よりご挨拶があり、名城公園の東側に大学用地を取得した旨の報告をいただきました。懇親会では、和やかな雰囲気のもと会話が弾み、来年の再会を約して散会となりました。

浅野信司(S58年卒)

山陰同窓会

■開催日:平成23年11月5日(土)芙蓉 別館

法学部同窓会を代表させていただき出席しました。大学側を代表され入試センター部長 引田弘道先生がご出席、本部同窓会から商経会会長 余語充伸さん、文学部・心身科学部事務局長 富田充さん、歯学部副会長 津田正昭さん、広島同窓会、四国同窓会からも出席され約40人参加のもと盛況に開催されました。山陰同窓会代表幹事中垣初男様のご挨拶につづき来賓紹介があり、続いて大学を代表として引田先生が大学の近況を話され、その中に名城公園前新キャンパス開校も紹介されました。私も本部同窓会を代表し粗辞を述べ同窓会創立50周年記念式典の内容について報告しました。会場となりました芙蓉別館は宿泊、温泉、多くの宴会場を有するすばらしい施設ですが経営者は愛知学院大学卒業生であり山陰同窓生も多方面でめざましい活躍をお聞きし、非常に頼もしく嬉しい限りでした。懇親会終了後1階ラウンジに於て会費制二次会が催され全員参加し、学生時代の思い出話で大変盛り上がりました。

疋田勇喜致(S39年卒)

四国同窓会

■開催日:平成23年11月12日(土)ロイヤルパークホテル高松

10月12日(土)四国同窓会に法学部同窓会として渉外部員の今井さんと私が出席致しました。大学の代表として引田先生が名城公園近くに一部学部が移転するための準備が進んでいる事等現在の大学の様子を挨拶の中で話されました。はじめて四国同窓会に出席しましたが四国と一言でいっても広いですね。出席するには泊らなければならない人もあり出席者の方も大変だと感じました。今年はいつもの年より出席者が少し減ったとのこと、でも何十年ぶりに出席した人とか 卒業してから初めて出席した人もみえました。懇親会の出席者は盛り上がりお喋りに花が咲き・時間は本当に短く感じられ有意義なひと時を過ごすことができました。仲間と久しぶりに会う!おしゃべりをして気持ちは学生時代に…タイム・スリップしたようなひと時 なんてすばらしい時間なのでしょう。和やかなこの雰囲気 私には感激しました。来年もまた多くの人の出席を望みながら私たち2人は帰ってまいりました。

伊藤桂子(S45年卒)

岐阜県同窓会

■開催日:平成23年11月12日(土)岐阜グランドホテル

岐阜県同窓会総会後のレセプションに出席した。レセプションはいつものように校歌斉唱から始まった。丹羽岐阜県同窓会長の挨拶の後、寶多図書館情報センター館長の挨拶の後、同窓会を代表して加藤 勇法学部同窓会会長が挨拶をした。続いて福西名誉会長の音頭による乾杯があり歓談の中、プロの女性歌手による演歌があった。あとは楽しいビンゴ抽選会。最後に一本締めをし、来年の再会を約しお開きとなった。和気藹々とした有意義なひと時であった。出席者数約50名。

加藤 勇(S38年卒)

この1年間のクラブ活動成績(個人・団体)

個人の部

※学科欄の色つき部分は法学部に在籍する学生を示します

クラブ名	学科	氏名	大会名	成績
ソフトテニス部	商	荒武光	秋季東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス:優勝
	商	後藤渉	秋季東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス:優勝
	ビジネス	村田直樹	東海学生ソフトテニスシングルス選手権大会	優勝
			西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会	準優勝
硬式野球部	経営	古屋慎太郎	愛知大学野球秋季リーグ戦	ベストナイン
	現社	浦野博司	愛知大学野球春季リーグ戦	最優秀選手賞・最優秀防御率選手賞・ベストナイン
	法律	田中友博	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン
準硬式野球部	ビジネス	松井準	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	ベストナイン・首位打者賞・本塁打賞・敢闘賞
			東海大学準硬式野球春季リーグ戦	ベストナイン
	商	上原弘誉	東海大学準硬式野球春季リーグ戦	ベストナイン
	現企	塚原達也	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	ベストナイン
	ビジネス	古本義宣	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	本塁打賞
	経営	中嶋亮太	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	本塁打賞
	ゴルフ部	現企	小島大輝	中部学生ゴルフ選手権競技
柔道部	法律	岡本健吾	東海学生柔道冬季優勝大会	優秀選手賞
			東海学生夏季優勝大会	優秀選手賞
	健康	渡邊理也	東海学生夏季優勝大会	優秀選手賞
	歴史	山本賢太	愛知県段別柔道選手権大会	弐段の部:優勝
			全日本ジュニア柔道体重別選手権愛知県予選	100kg級:優勝
			全日本ジュニア柔道体重別選手権東海地区予選	100kg級:優勝
日文	楠田舜也	東海学生柔道体重別選手権大会	100kg超級:優勝	
スキー部	薬	高井悠貴	全国学生岩岳スキー大会基礎スキーの部	男子個人演技:総合5位
相撲部	現社	近藤哲平	全日本学生相撲個人体重別選手権	75kg未満級:ベスト8
	経営	高田司	全日本学生相撲個人体重別選手権	75kg未満級:ベスト8
馬術部	商	深谷峻平	愛知学生トライアル競技会	総合科目馬場馬術2スター:優勝
バレーボール部	経営	永井慎一	西日本大学バレーボール五学連男子選抜対抗戦	ブロック賞
ボクシング部	現社	大場憲人	国民体育大会	5位入賞
			中部学生ボクシング選手権大会	フライ級:優勝
			中部学生ボクシング選手権大会	バンタム級:優勝
	法律	浅井裕貴	中部学生ボクシング選手権大会	ウエルター級:優勝
			中部学生ボクシング選手権大会	ウエルター級:優勝
	法律	鈴木慎二	中部学生ボクシング選手権大会	フライ級:優勝
ウエイトトレーニング部	健康	荒川喜明	全日本学生ボディビル選手権大会	4位入賞
	経営	榊原一範	中部学生秋季パワーリフティング選手権大会	男子82.5kg級:優勝
			中部学生パワーリフティング大会	83kg級:優勝
	総合	越山祐樹	中部学生パワーリフティング大会	74kg級:優勝
陸上競技部	現社	三浦萌	東海学生陸上競技対校選手権大会	女子やり投げ:優勝
			愛知レディース陸上競技大会	女子やり投げ:優勝
水泳部	歴史	木村萌美	中部学生短水路選手権水泳競技大会	400m個人メドレー:優勝
	健康	大西智子	兵庫県選手権水泳競技大会	100mバタフライ:優勝
射撃部	日文	橋本佳織	第79回中部学生ライフル射撃選手権	10mエアライフル立射40発競技:優勝
			第80回中部学生ライフル射撃選手権	10mエアライフル立射40発競技:優勝
	法律	井上陽裕	中部学生ライフル射撃伏射大会	10mエアライフル伏射60発競技:優勝
	ビジネス	松下純一	中部学生ライフル射撃三姿勢大会	10mエアライフル三姿勢3×20発競技伏射の部:優勝
ソフトボール部	健康	齋藤紘輝	東海地区大学ソフトボールリーグ戦	ベストナイン(三塁手)
空手道部	健康	二村智代	春季東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手:優勝
			日本空手協会東海地区空手道選手権大会	女子個人組手:優勝
バレーボール部(女子)	健康	塚本尚子	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	リベロ賞・サーブレシーブ賞
	商	竹本由美	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	セッター賞
			東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	セッター賞

10月15日の創立記念式典で表彰を行ったクラブ団体及び個人

(対象期間：平成22年10月1日～平成23年9月30日)

団体の部

クラブ名	大会名	成績
弓道部	全日本学生弓道選手権大会	男子団体：ベスト8
ソフトテニス部	春季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
	全日本大学ソフトテニス王座決定戦	3位
	西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	準優勝
硬式野球部	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	ベスト8
	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
	愛知大学野球秋季リーグ戦	優勝
	愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦	優勝
硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
	全日本大学野球選手権	ベスト8
	中部学生ゴルフ学校対抗戦	優勝
柔道部	東海地区学生柔道夏季優勝大会	優勝
バレーボール部	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
ボクシング部	中部学生ボクシング選手権大会	優勝
	中部学生ボクシング選手権大会	優勝
ウェイトトレーニング部	中部学生ボディビルディング選手権大会	優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
射撃部	第79回中部学生ライフル射撃選手権	10mエアライフル立射40発競技団体：優勝
空手道部	秋季東海地区大学空手道選手権大会	女子団体組手：優勝
	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	男子団体形、組手：優勝
		女子団体形、組手：優勝
バレーボール部（女子）	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会愛知県ラウンド	優勝

平成23年度 クラブサークル支援

今年度は、法学部同窓会ならびに文学部・心身科学部同窓会の2同窓会で、優秀なクラブサークルを選考し、10月15日の創立記念式典にてクラブサークル支援をしました。

- 軽音楽ウイステリア
- 吹奏楽部
- 茶華道部
- ソフトテニス
- 書道部



硬式野球部が明治神宮野球大会に出場!準優勝を果たす!



硬式野球部が11月に開催された第42回明治神宮野球大会に出場しました。出場は4年連続16回目となり、出場大学の中では東北福祉大学(24回目)に次いで2番目に多い回数をほこります。

結果は1回戦佛教大学を相手に1対0。2回戦亜細亜大学戦も1安打ながら1対0。3回戦創価大学戦はタイブレークの末2対1で勝利し、優勝した平成3年以来20年ぶりの進出となった決勝戦では東京六大学の覇者明治大学と対戦、結果は2対0で惜しくも敗戦となりましたが、見事準優勝を果たしました。今後の活躍にご注目ください。

◀ チームの大黒柱。今大会でも力投した浦野投手(法学部4年在籍)



私は昭和49年に入学。日進学舎の生粋の学生第1号です。48年入学者は最初の1年は楠元学舎。2年目より日進学舎にかわり、私たちの年代からが全く楠元学舎を知らない世代になります。ジローズの「戦争を知らない子供たち」、ならぬ楠元を知らない学生たちです。

クラブは馬術部に入りました。日進学舎に予定されていた馬術部の馬場(ばば)がないとの事。当時は中京競馬場に馬を預かってもらい、日進学舎からは名鉄バス、地下鉄、名鉄電車で中京競馬場下車、徒歩で20分以上費やして競馬場内の厩舎に到着。朝いちばんの授業には到底間に合いませんからいろいろ苦労したものです。そんな訳で是非とも厩舎と馬場を日進学舎に移転・建設してもらいたいとの思いが募りました。馬場設置は最初の設計図では書いてあったのですから。

私が移転対策リーダーとして各方面へ働きかけていきました。愛知大学豊橋校が学内に厩舎と馬場があり、また、名古屋市立大学も瑞穂区のキャンパス内にあったので、広大なキャンパスを擁する愛知学院大学日進学舎内に建設することは大学当局にとっても無謀なことではなく、意外と順調に各方面の理解が得られ、移転陳情開始から約2年、昭和51年には竣工式を迎えることができました。

今、人の心がすさんでいっています。ひとりでも多くの人が馬とは言わず、犬や猫と接触することが大切だと思います。動物を通して癒しを受けるのは何も老人だけではありません。小さな子供たちが動物への対応がわからず、やみくもにおびえたり、叩いたりしているのを見ると、馬術部というのは競技だけが目標ではなく、広く人と動物が出会う機会を与えることができる場でもあると考えます。

昭和51年から数えて35年が経ちました。大学周辺も大学内の雰囲気も変わりました。学部も増え、建物も増えました。女性の学生もたくさん見受けられます。

教えていただいた先生も退職、あるいは他界された方も何人かおられます。職員の方もそうです。当時お世話になった職員の方のご子息が今は大学の事務方の課長についておられていることを耳にすると、35年の月日は大きいと思うこの頃です。

ちなみに私は、昭和30年4月30日生。長男は建築学科卒業なので他大学出身。長女は今年、本学総合政策学部を卒業し、仕事に就いています。

私は今年4月の市議会議員選挙に5度目のチャレンジ、次点落選。今は新しい道を踏み出しました。この新しい道を得ることができたのは法学部OB各位のおかげです。

感謝。感謝。

西尾 克彦(昭和54年卒)



現在の馬場

新企画始動!

同窓会ホームページ投稿募集のお知らせ

同窓会ホームページはこれまでどおり同窓生、在学生に向け最新の情報を発信するとともに、皆さんからの記事や写真を募集し、同窓会とのパイプ役として役立ててもらいたいと思います。現在募集中のテーマは以下の通りです。どうぞ奮って投稿してください。

テーマ1 『〇〇〇の思い出』 (学食、大学祭、指導教員、セミナー、クラブ活動など)

皆さんが愛知学院大学に在学中のエピソードを紹介。初めて大学を訪れた時の感想や、慣れ親しんだ下宿先を去る時の心境、今だから言える「秘密」など

テーマ2 『教えて!同窓生』

在学中の学生から質問を寄せてもらうコーナー。同窓生に対し質問をぶつけ、熱く語り合う内容です。

テーマ3 『季節の一枚』 (写真)

季節を感じさせる写真を投稿してもらおうコーナー。ジャンルは問いません。

テーマ4 自由投稿

企画・テーマの要望や、「ゼミ生で集まりたいのでホームページ上で呼びかけたい!」など、同窓生からの声を随時受け付けています。

※投稿規定・方法については同窓会ホームページをご覧ください。

同窓会ホームページのご紹介

同窓会ホームページでは、毎年開催される総会のご案内をはじめ、各種催事の情報や地方同窓会の動向を逐次お伝えしています。デジタルコンテンツという特性を活かし、大学ホームページとの連動記事や動画、写真も数多く掲載しています。会報ではお伝えしきれなかった『50周年総会記念式典』の様子ももちろん掲載されています。

今までご覧になったことのない方も是非アクセスしてください。

法学部同窓会ホームページ <http://www.agu-houdoso.org/>

最近の主な掲載記事

- 創立50周年記念式典
- 平成23年度法律相談会
- 平成23年度総会 等

編集後記

「絆」この言葉が、こんなにも感謝し、愛おしく感じる一年でした。創立50周年記念も同窓会生の絆を強く感じました。(M)